

# 令和8年度当初予算案の大綱

Utsunomiya City 2026



Anniversary

共に創り 輝き続ける うつのみや  
未来を拓くまちづくり

# ◇ 予算編成の基本的な考え方

「持続可能な財政構造」を  
確立するための取組を  
強力に推進しながら、  
新たな交流や投資を一層促進し、  
**地域全体で「稼ぐ力」を高める**  
取組などに優先化・重点化を  
図ることにより、  
夢や希望がかなうまち  
**「スーパースマートシティ」の**  
**具現化**を着実に推進する予算



# ◇ 予算の規模

会計名	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	増	減	増	減	比
一般会計	246,550,000 千円	240,630,000 千円	5,920,000 千円				+ 2.5 %
特別会計 (10会計)	133,644,733 千円	128,475,423 千円	5,169,310 千円				+ 4.0 %
企業会計 (3会計)	61,263,439 千円	57,192,978 千円	4,070,461 千円				+ 7.1 %
合計	441,458,172 千円	426,298,401 千円	15,159,771 千円				+ 3.6 %

## □ 一般会計 **過去最大（3年連続）**

- ・ 保育施設への給付費の増，障がい者自立支援費の増などに伴う扶助費の増（前年度比 +29億円余）
- ・ 小中学校における給食費支援の拡充，維持管理経費の増による下水道事業会計への負担金の増などに伴う補助費等の増（前年度比 +19億円余）
- ・ 給与改定に伴う職員給与費の増，定年引上げに伴う退職手当の増による人件費の増（前年度比 +13億円余）

## □ 特別会計

- ・ 車券発売収入の増などに伴う競輪特別会計の増（前年度比 +23億円余）

## □ 企業会計

- ・ 老朽下水道管の改築・更新などに伴う下水道事業会計の増（前年度比 +23億円余）

## ◇ 予算の特徴

1 物価高騰への対応

2 多様な「人」の呼び込みと、まちづくりの担い手としての活躍の促進

3 地域共生社会・地域経済循環社会・脱炭素社会の3つの社会の創出

4 安全・安心なまちづくりの推進

5 魅力ある都市空間の形成と交通ネットワークの充実・強化

6 デジタル技術の利活用の促進

7 行政経営基盤の強化

## 1 物価高騰への対応

令和7年度3月補正予算：約29億円

### ● 国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策給付金給付事業の実施

- ・ 国が示す負担軽減規模を上回る市民1人あたり**5,000円の給付金を支給**
- ・ 令和8年5月下旬から順次支給開始

令和8年度当初予算：約24億円

### ● 市立小中学校の給食費の更なる負担軽減

- ・ 小学校：子ども1人あたり**5,200円/月の支援**（3,200円/月の増）
- ・ 中学校：子ども1人あたり**5,900円/月の支援**（3,900円/月の増）

### ● 保育施設等の給食費への支援の継続

- ・ 子ども1人あたり**2,000円/月の支援**

# ◇ 予算の特徴

## 2 多様な「人」の呼び込みと、まちづくりの担い手としての活躍の促進

約616億円（前年度比+約41億円）

### 子育て負担の軽減

#### ● 市立小中学校等の給食費への支援 [再掲]

- ・ 小学校 : 子ども 1人あたり5,200円/月の支援  
(3,200円/月の増)
- ・ 中学校 : 子ども 1人あたり5,900円/月の支援  
(3,900円/月の増)
- ・ 保育施設等 : 子ども 1人あたり2,000円/月の支援



小学校における給食の様子

### 子育て環境の充実

#### ● 全天候型子どもの活動の場の整備

- ・ 田原コミュニティプラザを改修し  
令和9年度の供用開始を目指す

#### ● こども誰でも通園制度の本格実施

#### ● 小中学校の校舎・体育館の長寿命化

- ・ 西原小学校校舎長寿命化改修工事など



全天候型子どもの活動の場(宮城県白石市の例)

## 2 多様な「人」の呼び込みと、まちづくりの担い手としての活躍の促進

### 女性や高齢者の活躍推進

- あらゆる分野における女性活躍のための個人・企業・団体等のネットワークづくりの充実
- 高齢者外出支援事業におけるタクシー利用に向けたシステムの構築
- 老人福祉センターへのエレベーターの設置  
・ ふれあい荘，すこやか荘，やすらぎ荘



グループワークを通じたネットワークづくりの様子



北西部地域体育施設の整備イメージ

### スポーツ活動の推進

- 民間活力を活用した北西部地域体育施設の整備  
(令和9年度供用開始予定)

## 3 地域共生社会・地域経済循環社会・脱炭素社会の3つの社会の創出

約547億円（前年度比+約21億円）

### 地域共生社会

- 自治会活動の負担軽減・活性化に資する自治会運営支援アプリの導入
- 自治会内の交流・加入促進強化に対する助成
- 障がい者の「親なき後相談窓口」の開設
- 児童相談所の整備に向けた基本設計



スケートボードの国際大会（北九州市の例）

### 地域経済循環社会

- 新たな産業団地の整備やデータセンターの立地誘導に向けた取組の推進
- 「ワールドスケートボーディングツアー」の開催（令和8年11月）



プラスチック製品資源化のイメージ

### 脱炭素社会

- プラスチック製品資源化に向けた取組の推進

## 4 安全・安心なまちづくりの推進

約106億円（前年度比＋約9億円）

### 都市基盤の強化

- **河川整備**（令和7年度3月補正予算と一体的な実施）などによる**総合的な治水・雨水対策の推進**

### 消防・救急体制の充実

- **南消防署の移転・改築**（令和10年度完成予定）
- **通信指令システムの更新**

### 医療体制の強化

- **宇都宮市地域医療計画の策定**に向けた調査
- **夜間休日救急診療所の混雑緩和**に向けた取組の推進



アンダーパス冠水時のエア―遮断機(他自治体の例)



南消防署の整備イメージ

## 5 魅力ある都市空間の形成と交通ネットワークの充実・強化

約378億円（前年度比+約53億円）

### 都市空間の形成

- ライトラインのJR宇都宮駅西側延伸に向けた整備の推進
- JR宇都宮駅西口における駅前広場整備と民間再開発の促進
- 民間活力を活用した八幡山公園の魅力向上  
・ 自然体験施設などを令和9年3月に供用開始予定

### 道路ネットワークの形成・強化

- (仮称)大谷スマートインターチェンジの整備

### 公共交通ネットワークの充実

- ライトラインのJR宇都宮駅西側延伸に伴うバス路線再編の検討



JR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ



八幡山公園の整備イメージ

## ◇ 予算の特徴

### 6 デジタル技術の利活用の促進

約31億円（前年度比▲約14億円）

#### デジタルリテラシーの向上

- 児童生徒用1人1台端末の計画的な更新  
・小学1～6年生

#### スマートワークの実現

- クラウドサービスの活用による  
行政のスマートワークの実現



1人1台端末を活用して学習する様子

### 7 行政経営基盤の強化

約34億円（前年度比▲約1億円）

#### 市民が主役のまちづくり

- 市制130周年記念事業の実施  
・記念式典の実施，各種団体等との連携事業の実施

#### 財政基盤の更なる強化

- 地域活性化起業人の起用による  
ふるさと納税の促進



「市制130周年記念」ロゴマーク



**Super  
Smart  
City**

---

**UTSUNOMIYA  
SDGs**